

令和 8 年 度

一 般 入 学 試 験（ 前 期 2 日 目 ） 問 題

国 語

（ 国 際 看 護 学 部 ）

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に下記①～④の記入欄があるので、試験監督者の指示に従ってそれぞれ正しく記入し、マークしなさい。

- ① 氏名欄 氏名およびフリガナを記入しなさい。
- ② 受験番号欄 受験番号(数字および英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
- ③ 試験種別欄 【一般入試③】にマークしなさい。
- ④ 教科・科目欄 【国語】にマークしなさい。

4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。
例えば、

10

 と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の[例]のように解答番号 10 の解答欄の ③ にマークしなさい。

[例]

解答 番号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験時間は、60 分です。

I

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

問1 点線部 a～e の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

a

1 ブンカツ

④ ③ ② ①

① イツカツで返済する
② コウカツ感を訴える
③ 山の斜面からカツラクする
④ 説明をカツアイする

b

2 ヨウセイ

④ ③ ② ①

① ヨウセイ反応
② 水玉モヨウ
③ リヨウする
④ ヨウリヨウよくこなす

c

3 ユウグウ

④ ③ ② ①

① グウワを読む
② 困難にソウグウする
③ グウゼンの出来事
④ ジングウに参拝する

d

4 ユライ

④ ③ ② ①

① シンライ関係を築く
② ライショする
③ ライメイが響く
④ 偉業をライサンする

e

5 テンケイ

④ ③ ② ①

① ショテンで雑誌を買う
② テントウを予防する
③ 国語ジテンで調べる
④ テンボウ台に登る

問2 空欄

i

vi

 に当てはまるの語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- | | | | | | | |
|---|-----|------|---------|--------|-------|--------|
| ① | i 公 | ii 私 | iii 多数派 | iv 多数派 | v 少数派 | vi 多数派 |
| ② | i 私 | ii 公 | iii 多数派 | iv 少数派 | v 少数派 | vi 多数派 |
| ③ | i 公 | ii 私 | iii 少数派 | iv 少数派 | v 多数派 | vi 少数派 |
| ④ | i 私 | ii 公 | iii 少数派 | iv 多数派 | v 多数派 | vi 少数派 |

問3 傍線部A「誰かや何かの管理下に置かれるわけではない」について、その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 人民は個々の構成員を代表する抽象的な象徴にすぎず、自立した判断を持たないため。
- ② 人民は実体としての意志を持つ主体であり、共同体とは別個の存在だとされているため。
- ③ 人民は構成員が一般意志に基づき、自らの熟議的理性によって共同体を運営する主体であるため。
- ④ 人民は一般意志を外部から授けられ、それに強制的に従う存在であるため。

問4 傍線部B「意志を一般化する」とあるが、文の文脈においてこの表現が意味するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 自分の利益を最大化するために、他者の利害も巧みに利用する立場に切り替えること。
- ② 個人的な利害関心をいったん離れ、他者を含む人間全体に共有される必要を探ろうとする姿勢をもつこと。
- ③ 多数派の意見に迎合し、自分の考えを多数側に合わせて共同体の統一を保とうとすること。
- ④ 人間に共通する性質よりも、各個人の価値観や利益を優先して判断する態度へと移ること。

問5 傍線部C「熟議的理性」について、筆者は英語の「deliberation」が「熟議」と「熟慮」の両方の意味を持つ点に注目しているが、傍線部D「deliberationの本質」とは何を指しているか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 多数の人々が参加し、相互の意見交換を通じて結論を導く過程そのもの。
- ② 感情を抑制し、共同体全体で理性に基づいて判断しようとする知的態度。
- ③ 内省や思索を通じて、自らの考えを形成したり修正したりする精神的営み。
- ④ 共同体全体の利益を確保するために、個人の自由や選択を抑制しようとする作用。

問6 傍線部E「一般意志を全体主義的に捉えるのは大きな誤りである」とあるが、筆者が一般意志を全体主義とは区別する根拠として述べている内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 一般意志が国家の利益を最優先するため、国家が強力な統制力を持つことにつながる点。
- ② 一般意志が構成員の政治的平等を前提とし、差別や偏見を許容しない性質を持つ点。
- ③ 一般意志が多数派の考えと常に一致し、多数派の利益を優先して実現しようとする点。
- ④ 一般意志が国家権力の意志を象徴し、それを体現する概念として働く点。

問7 傍線部F「少数派が多数派の投票結果に従うのが正当なのかを明らかにしている」とあるが、この正当性の根拠となる考え方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 多数派の意見が社会的に強い影響力を持ち、少数派が従うのは現実的に避けられないため。
- ② 多数派の判断は常に個々人の自由を最大限に尊重しており、少数派も納得しやすい正当性を持っているため。
- ③ 多数派が熟議的理性を通して一般意志を見いだしたと考えられ、その判断は個人の理性にも合致するとされるため。
- ④ 多数派は国家運営に長けた専門的集団であり、その判断の正確性が他より高いと認められるため。

問8 傍線部G「人々の利害対立が鋭く意志が一般化できない対象は、そもそも投票の対象にはならない」とあるが、本文の説明に基づき、

投票の対象にしてはならない問題の特徴として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 選択肢が複数あり、慎重な比較が必要とされる複雑な議題である点。
- ② 利害の対立が激しく、構成員が一般意志へと意志を一般化できない種類の問題である点。
- ③ 大多数の人々が関心を抱かず、十分な情報がないまま判断するおそれがある点。
- ④ 経済的な負担が大きく、財政的な影響が避けられない政策である点。

問9 本文後半で取り上げられるルワンダ大虐殺の歴史的記述は、単なる事例紹介ではなく、筆者の主張と深く関わる意味を持っている。で

は、筆者がこの事件を例示として取り上げた理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 多民族国家では民族紛争が生じやすいという普遍的傾向を証明するため。
- ② 民主主義の成熟には公教育の充実が不可欠であることを歴史的に示すため。
- ③ 多数派主義が暴走し、少数派への抑圧へとつながる危険性を具体的に示すため。
- ④ アフリカ地域に特有の政治制度や民族構成の特殊性を説明するため。

Ⅱ

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

問1 点線部 a～e の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

a キネン

14

④ ③ ② ①

新規事業がキドウに乗る
必勝をキガンする
会議でショキを担当する
活躍をキタイする

b キネンヒ

15

④ ③ ② ①

心身共にヒヘイする
大臣をヒメンする
ヒガイを食い止める
ヒブンを刻む

c セイフク

16

④ ③ ② ①

セイケツに保つ
ヒマラヤへのエンセイを計画する
台風のセイリョク
自動車をセイゾウする

d クチ

17

④ ③ ② ①

フキュウの名作
キュウヤク聖書を読む
カンキュウをつけた投球
ジョウキュウ者向けのコース

e バイカイ

18

④ ③ ② ①

バイショウ金を支払う
バイテンで購入する
細菌をバイヨウする
有機ヨウバイを使用する

問2 空欄 i v に当てはまる接続語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

①	i	そして	ii	いわば	iii	むしろ	iv	ゆえに	v	しかし
②	i	ただし	ii	まるで	iii	おそらく	iv	確かに	v	すると
③	i	それゆえ	ii	もしくは	iii	しかし	iv	むしろ	v	さらに
④	i	ところが	ii	むしろ	iii	たとえば	iv	やはり	v	だが

19

問3 傍線部A「日本の庭は時間とともに変化し、推移することが生命なのだ」と筆者は述べている一方で、ヨーロッパの庭については、傍

線部C「庭園において動かない造型を作り出すということ」と指摘している。この対比に関する説明として最も適当なものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。

20

① 日本庭園は人工的な造型を重視し、永遠に残る形を志向するのに対し、ヨーロッパ庭園は自然の変化を尊重し、推移する生命を美とする。

② 日本庭園は変化を本質とし、ヨーロッパ庭園は永続する形の保持を理想とする。

③ 日本庭園は建築物と切り離されて配置され、ヨーロッパ庭園は生活に融合している。

④ 日本庭園もヨーロッパ庭園ともに不変の形を志向するが、日本庭園はそれを草木の推移によって補い、ヨーロッパ庭園は石や彫刻によって補う。

問4 傍線部B「その中に在って親和関係を保つべきものであった」と筆者は日本人の自然の捉え方について述べている。これを踏まえて、

日本人の自然観の特徴として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

① 自然はその素材を活かしつつ、堅固な様式の作品に再構成されるべきものとして認識された。

② 自然と人間との対立を避け、永遠不変の造型意志を示すべきものとして対象化された。

③ 自然界のあらゆるものに魂や命を認めるアニミズム的心性をもつものとして認識された。

④ 自然は人々の生活を超越した芸術表現の素材であり、人間の造型意志によって完成するものとして考えられた。

問5 傍線部D「花の命を惜しむことが、生花の極意である」とあるが、生花の本質に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 永遠性のある造型としての芸術を作ることが目的である。
- ② 花の命の短さを愛でる場として、芸術における人間関係の豊かさを強調する。
- ③ 一瞬の美を味わい、儚い命との出会いを大切にする点に価値がある。
- ④ 花と人が出会う場の価値を重視し、芸術における空間性そのものを強調する。

問6 傍線部E「自己を没却し、自然のままに随順し、仲間と楽しみを一つにする」とあるが、この説明から読み取れる連句の特徴として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 作者の独自性を表現し、永遠に残る構造的な造型を作り上げる文学。
- ② 各人の工夫を競い合うことで美を高めようとする文学。
- ③ 仲間と場の雰囲気を共有し、一時的な生成の過程そのものに価値を置く文学。
- ④ 完成した作品を後世に残し、代々語り継がれていくことを最大の目的とする文学。

問7 傍線部F「この庭は一定の空間を切り取ってその中に石を配置し、それを方丈から見るとして対象化したところに成立している」

とあるが、龍安寺石庭に対する筆者の見解を端的に示す説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 龍安寺石庭は、生活空間に溶け込み、日常の中で自然の推移を楽しむ日本庭園の芸術性の極致であるといえる。
- ② 龍安寺石庭は、永遠不変の造型を志向するヨーロッパ庭園の理念を完全に体現しているため、日本文化の象徴として適していない。
- ③ 龍安寺石庭は、抽象的図形として鑑賞の対象に特化しており、日常に溶け込む日本庭園本来のあり方から逸れている。
- ④ 龍安寺石庭は、作者の意志を伝える原形を保持しており、日本庭園の理念を最も純粹に示す代表作であるといえる。

問8 傍線部G「にわかには私たちの日常的な世界へ引きずりおろしてくれる。この抽象的な幾何学的図形の中に、一つの生命を、生々流転す

るものを、導き入れてくれるのだ」とあるが、この筆者の反応として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 桜の存在が石庭の構成を動揺させ、芸術としての完成度を損ねてしまうと感じた。
- ② 桜があることで石庭がより象徴的になり、緊張感が生じると感じた。
- ③ 生命ある植物の存在が、石庭を親しみうる日常の空間として補っていたと感じた。
- ④ 桜が植えられたことで石庭に生物が集まりやすく、にぎわいのある場に変化したと感じた。

問9 本文全体を踏まえ、筆者が一貫して主張している日本の芸術観の核心を説明したものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから

一つ選べ。

26

- ① 芸術とは、作者の個性を表す造型物として永遠に保存されるべきものである。
- ② 芸術とは、自然を素材として手を加え、唯一の完成形を作り上げる活動である。
- ③ 芸術とは、人間の技術によって自然を克服し、精巧さを与える営みである。
- ④ 芸術とは、自然の変化に寄り添い、一瞬に輝く生命を尊ぶ体験に価値がある。

〈国語〉 国際看護学部 前期2日目 正答・配点

			解答番号	正答	配点
I (50 点)	問1	a	1	④	4 点
		b	2	④	4 点
		c	3	②	4 点
		d	4	②	4 点
		e	5	③	4 点
	問2		6	①	2 点
	問3		7	③	4 点
	問4		8	②	4 点
	問5		9	③	4 点
	問6		10	②	4 点
	問7		11	③	4 点
	問8		12	②	4 点
	問9		13	③	4 点
II (50 点)	問1	a	14	②	4 点
		b	15	④	4 点
		c	16	②	4 点
		d	17	①	4 点
		e	18	④	4 点
	問2		19	④	2 点
	問3		20	②	4 点
	問4		21	③	4 点
	問5		22	③	4 点
	問6		23	③	4 点
	問7		24	③	4 点
	問8		25	③	4 点
	問9		26	④	4 点